

平成30年度(2018年度) 建設コストの計画と実績

債務引受限度額と会社から引き受けた債務との対比を下記に示します。  
 平成30年度に完了した事業について、計画と実績に差が生じた主な理由は、現地状況に合わせた工法の見直し、地元・関係機関等との協議による見直し、工事数量等の確定(精算)によるものです。  
 平成30年度に完了しなかった事業について、計画と実績に差が生じた主な理由は、新設・改築事業では附帯工事等の工事が令和元年度以降に残ったこと、利便増進事業(スマートIC)が令和元年度以降計画的に実施されること、修繕事業や特定更新等工事では工事発注の見直し等で機構への帰属を令和元年度以降としたこと、災害復旧事業では過去の実績をもとに、料金徴収期間満了までに必要となる額が債務引受限度額として計上されていることによるものです。

[単位:百万円(消費税込み)]

道路名(区間名)	債務引受限度額(計画)(A)	債務引受額(実績)			(D)-(A)	債務引受限度額と債務引受額の差額についてのコメント
		平成29年度まで(B)	平成30年度(C)	計(D)=(B)+(C)		
北海道横断自動車道黒松内釧路線 余市IC~小樽IC新設事業	129,429	0	106,932	106,932	△ 22,496	・差額は、施工中の小樽JCT等の残事業に要する費用。 ・平成30年度の債務引受額は、余市IC~小樽IC間供用に要した費用。
常磐自動車道 相馬IC~新地IC新設事業	20,681	14,817	3,422	18,239	△ 2,441	・差額は、工事数量の確定等による減。
常磐自動車道 新地IC~山元IC新設事業	46,251	38,406	3,960	42,366	△ 3,884	・差額は、工事数量の確定等による減。
東関東自動車道水戸線 三郷南IC~松戸IC新設事業	90,371	0	85,923	85,923	△ 4,448	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用。 ・平成30年度の債務引受額は、三郷南IC~松戸IC間供用に要した費用。
東関東自動車道水戸線 松戸IC~高谷JCT新設事業	757,411	7,340	634,950	642,291	△ 115,119	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用。 ・平成30年度の債務引受額は、松戸IC~高谷JCT間供用に要した費用。
東北中央自動車道相馬尾花沢線 上山IC~東根IC改築事業	4,125	1,156	1,211	2,368	△ 1,757	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用。 ・平成30年度の債務引受額は、東根IC改築に要した費用。
関越自動車道新潟線 東松山~渋川(上り線)改築事業	9,689	3,912	4,949	8,861	△ 827	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用。 ・平成30年度の債務引受額は、一部区間の付加車線に要した費用。
東関東自動車道水戸線 三郷JCT~三郷南IC改築事業	1,979	0	215	215	△ 1,763	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用。 ・平成30年度の債務引受額は、附帯工事の一部完了に要した費用。
東関東自動車道水戸線 三郷JCT(二次改築)改築事業	21,420	4,060	14,913	18,974	△ 2,446	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用。 ・平成30年度の債務引受額は、三郷JCT改築に要した費用。
東関東自動車道水戸線 三郷中央IC新設事業	3,423	0	2,887	2,887	△ 535	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用。 ・平成30年度の債務引受額は、三郷中央IC供用に要した費用。
一般国道14号(京葉道路) 京葉市川IC改築事業	1,741	0	602	602	△ 1,138	・差額は、工事数量の確定等による減。
一般国道14号(京葉道路) 京葉市川PA新設事業	18,766	0	8,954	8,954	△ 9,811	・差額は、上り線側のPA工事等の残事業に要する費用。 ・平成30年度の債務引受額は、京葉市川PA(下り線)供用に要した費用。
東日本高速道路株式会社が管理する高速道路に係る高速道路利便増進事業に関する計画(スマートIC)	48,186	27,532	9,589	37,121	△ 11,064	・差額は、施工中のスマートICに要する費用。 ・平成30年度の債務引受額は、5箇所の供用に要した費用。
関越自動車道上越線 信濃町IC~上越JCT改築事業	67,152	0	44,910	44,910	△ 22,242	・差額は、施工中の4車線化工事に要する費用。 ・平成30年度の債務引受額は、一部区間の4車線化に要した費用。
東関東自動車道千葉富津線 木更津南JCT~富津竹岡IC改築事業	32,971	0	11,635	11,635	△ 21,335	・差額は、施工中の4車線化工事に要する費用。 ・平成30年度の債務引受額は、一部区間の4車線化に要した費用。
北関東自動車道 太田強戸PA新設事業	6,430	0	5,035	5,035	△ 1,394	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用。 ・平成30年度の債務引受額は、太田強戸PA供用に要した費用。
一般国道13号(米沢南陽道路) 米沢北IC改築事業	748	445	262	708	△ 40	・差額は、工事数量の確定等による減。
東北縦貫自動車道八戸線 八戸西スマートIC改築事業	2,797	0	2,660	2,660	△ 136	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用。 ・平成30年度の債務引受額は、八戸西スマートIC供用に要した費用。
東北横断自動車道いわき新潟線 田村スマートIC改築事業	3,148	0	2,676	2,676	△ 471	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用。 ・平成30年度の債務引受額は、田村スマートIC供用に要した費用。
常磐自動車道 ならばスマートIC改築事業	3,228	0	2,903	2,903	△ 324	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用。 ・平成30年度の債務引受額は、ならばスマートIC供用に要した費用。
常磐自動車道 大熊IC新設事業	2,695	0	2,408	2,408	△ 286	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用。 ・平成30年度の債務引受額は、大熊IC供用に要した費用。
北海道縦貫自動車道函館名寄線等 平成30年度修繕事業	153,956	—	103,997	103,997	△ 49,958	・差額は、修繕計画の見直しにより次年度以降に債務引受する費用。
北海道縦貫自動車道函館名寄線等 災害復旧事業	163,626	107,320	1,002	108,322	△ 55,304	・差額は、令和元年度以降の災害対応に要する費用。
北海道縦貫自動車道函館名寄線等 平成30年度特定更新等工事	153,135	—	18,216	18,216	△ 134,918	・差額は、特定更新等工事計画の見直しにより次年度以降に債務引受する費用。

注1)平成30年度(2018年度)に債務引受けを行ったものについて、継続中事業を含めすべて記載している。なお、□は、平成30年度に完了している新設・改築事業である。

注2)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

注3)修繕事業に関する債務引受限度額(計画)は、平成30年度までの債務引受限度額(計画)の累計から、平成29年度までの債務引受額(実績)を控除している額である。

注4)特定更新等工事に関する債務引受限度額(計画)は、平成30年度までの債務引受限度額(計画)の累計から、平成29年度までの債務引受額(実績)を控除している額である。